

家庭での情報モラルに関する保護者啓発資料です！

位置情報共有アプリで面識のない人とつながることの危険性

夏休みに入ると、スマートフォンやタブレット端末等に触れる時間が長くなります。位置情報共有アプリは待ち合わせや災害時の安否確認などに使えて大変便利な反面、面識のない人とつながってトラブルに巻き込まれてしまう可能性もあります。お子さんと一緒にアプリの設定を見直してみましょう。

〔位置情報共有アプリの機能について〕

位置情報共有アプリで他の利用者と友だちとしてつながると、右のイラストのように、たがいの現在位置を確認し合うことができます。また、サービスごとに違いはありますが、位置情報共有アプリには以下のような機能もあります。

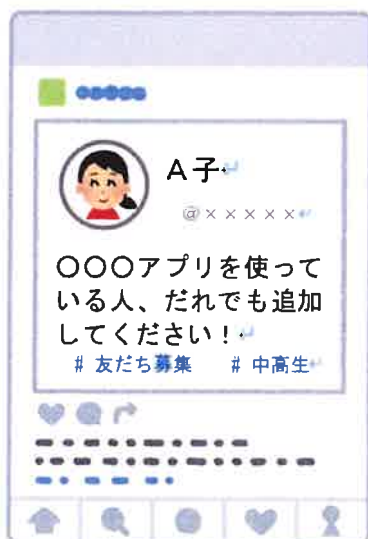
- ・滞在時間の表示
- ・滞在している場所のアイコン表示
- ・つながった相手とのメッセージのやりとり
- ・つながった相手のスマートフォンの電池残量表示



〔子供たちが面識のない人とつながってしまうことも・・・〕

インターネット上の他のサービスで知り合い仲良くなった人から一緒に使おうと誘われたり、自分のアプリのIDをSNS上などで公開して友だちを募集したりして、子供たちが面識のない人と位置情報共有アプリで友だちとつながってしまうケースがあります。

しかし、位置情報共有アプリは、相手の家や学校、行動パターンなどが簡単にわかってしまうため、面識のない人とつながる可能性があります。面識のない人と友だちとしてつながったことで、ストーカー被害を受けたり、家に来られて暴行被害を受けたりしたという事件も実際に起きています。



夕方からずっとここにいるから、ここがA子ちゃんの家だな。

位置情報共有アプリではさまざまな情報が相手に筒抜けになるので、面識のない人とつながると事件に巻き込まれてしまう危険性があります。そのことを子供たちに理解させ、面識のない人とは絶対に友だちにならないように伝えてください。また、自分のアプリのIDをインターネット上に載せないように注意しておくことも必要です。

『ゲームでの課金トラブル』にご注意を！

夏休みに入ると、スマートフォンやタブレット端末等に触れる時間が長くなります。ゲームの課金トラブルを未然に防止できるように、ペアレンタルコントロール等を活用しましょう。

〔課金トラブルの例〕

- ・子供に「1回だけだから」と頼まれ、子供のスマートフォンにクレジットカード情報を登録したが、クレジットカード情報を削除し忘れて、子供が課金を続けてしまった。
- ・クレジットカードやキャリア決済を利用した課金は、その場で現金を支払う必要がないので、お金を使っているという実感があまりなく、ついつい課金をしてしまった。
- ・キャリア決済になっていた保護者や子供自身のスマートフォンを使って課金をしていた。

※キャリア決済…アプリに課金したお金を後日の携帯電話の利用料金と一緒に支払うこと

〔課金トラブルを防ぐための対策の例〕

☆子供の課金を防ぐために☆

- ・子供の利用する端末に、クレジットカードの情報を登録したり残したりしない。



- ・子供のスマートフォンにおけるキャリア決済の利用を停止する。



- ・子供の端末におけるアプリ内の課金を禁止する。



☆課金を認める場合には、ルールを作成を☆

《ルールの例》

- ・1ヶ月に〇〇円までと、課金の上限金額を求める。
- ・課金する際には、利用残高がわかるプリペイドカードを使う。
- ・課金ノートを作って、いつどのくらい課金したのか記録する。



以上、熊本県教育委員会から家庭における情報モラルに関する啓発資料を紹介しました。これら以外にもトラブルに巻き込まれるケースもありますので、家庭でのルールを守る等、子どもさんを被害から守るようお願いします。